

スポーツ庁、文化庁、観光庁との三庁包括連携協定について

○観光庁は、スポーツ庁、文化庁とともに、2020年東京オリパラ大会等の世界的なイベントの我が国での開催を控え、各地域のスポーツイベントと文化芸術資源を結び付け、世界に誇れる新たな観光資源を生み出すなど、3庁の政策連携による相乗効果によって、新たに生まれる地域ブランドや日本ブランドを確立・発信し、2020年以降も訪日観光客の増加や国内観光の活性化を図るため、平成28年3月に包括的連携協定を締結。

【具体的取組】

- 三庁連携シンボルマークの決定
 - ・募集期間 平成28年7月12日(火)～8月12日(金)
 - ・募集結果 総数／68件
 - ・作成者 永田 康二氏(グラフィックデザイナー)

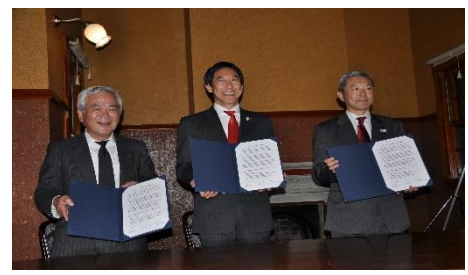


＜コンセプト＞
三庁を示す3つの輪が水引で結ばれています。その結果、結端に富士山が出現し、笠雲がかかった様にも見えます。「富士に雲」で国内観光発展の吉祥と三庁の結束力をイメージしています。

- 「スポーツ文化ツーリズムアワード2016」1次選定(入選)結果【10選】
 - ・募集要件
 - ① 「スポーツ」と「文化資源」を組み合わせたものであること。
 - ② 国内外の観光客の増加、長期滞在を促す仕組みや地域への経済効果波及につながる工夫があること。
 - ③ 地域の活力の着実な増加につながるものであること。
 - ・募集期間 平成28年7月12日(火)～8月12日(金)
 - ・募集結果 総数／44件

【官民連携の動き】

ジャパン・トラベル・マンス
Japan Travel Month



- ・例年、日本旅行業協会(JATA)、日本政府観光局(JNTO)、日本観光振興協会の3者が9月のシルバーウィークに開催してきた「ツーリズムexpoジャパン」等の3つの国際観光イベント「Japan Travel Week」を、10月に開催されるスポーツ・文化・ワールド・フォーラムも併せ、三庁連携を受けた官民連携プロジェクト「Japan Travel Month」として拡大。
- ・期間中の9月21日(水)から10月22日(土)の1か月間、上記4つのイベントに加え、地域のスポーツイベントや祭事などの情報を旅行業界が中心となって強力に発信、国内観光、訪日観光の活性化を図っている。

【今後の予定】

- 「スポーツ文化ツーリズムアワード2016」について、入選した取組の中から、三庁長官や有識者からなる審査委員会により、年内にも大賞1点、およびスポーツ、文化、観光の各庁長官賞等を決定。



スポーツ文化ツーリズムアワード2016【10選】

1次選定(入選)結果発表

01 スポーツ流鏝馬大会

申請団体:青森県十和田市

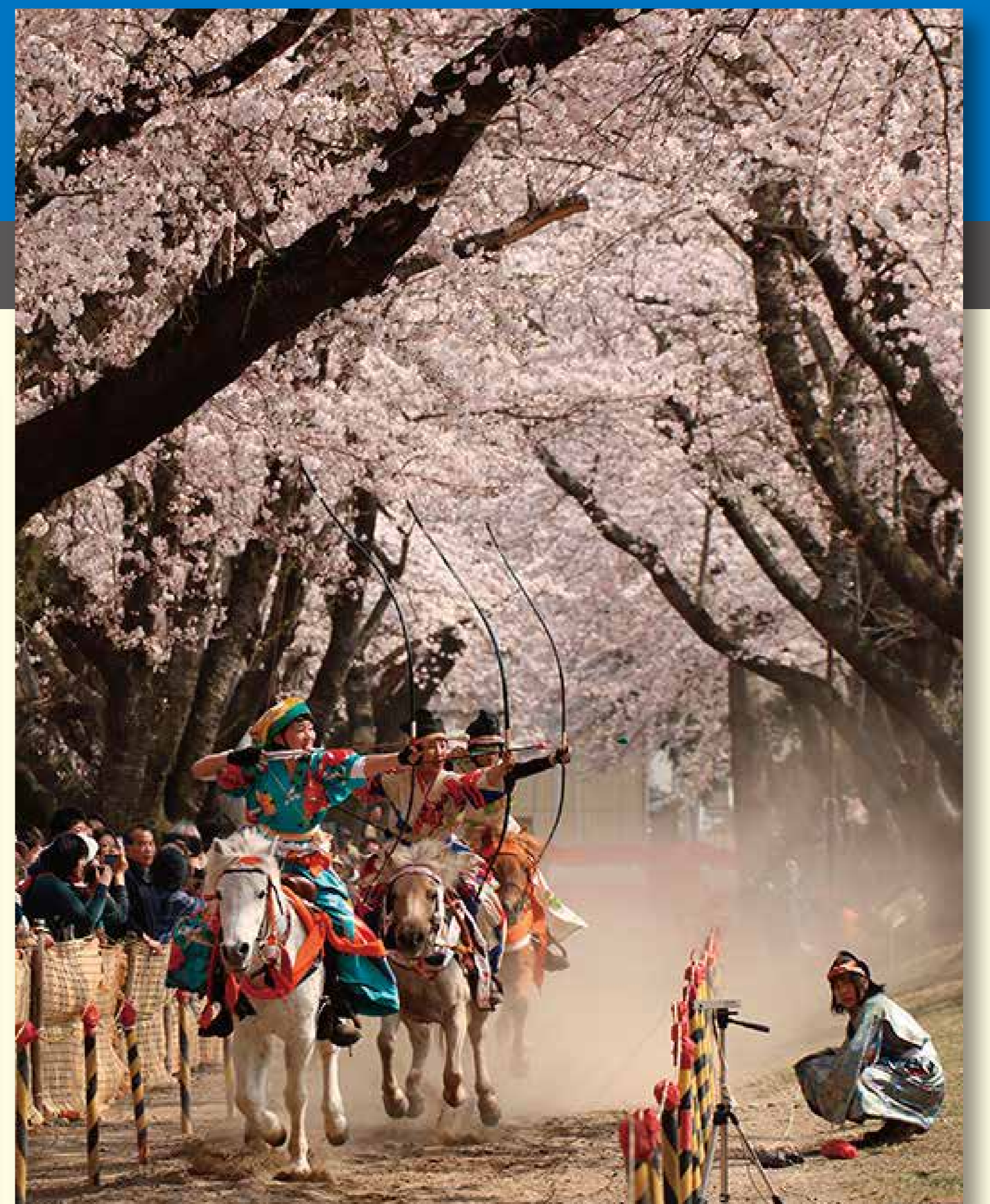
北海道・東北ブロック

取組概要

- 「乗馬」と「弓道」の両方の技術を要する日本古来の神事である「流鏝馬」をスポーツ競技化。春季から秋季にかけて、十和田市をはじめ、東北地方の複数個所で大会開催。また、初心者から気軽に楽しむことが出来るよう、「流鏝馬体験プログラム」を実施。
- インバウンド受け入れのため、県内大学の留学生を対象としたモニターツアーを実施。

評価ポイント

- 「乗馬競技」は世界各地で行われており、今後の発展に期待が出来る。
- 大会開催が四季をまたぎ、長期滞在が見込まれる。
- 体験プログラムの実施など乗馬・流鏝馬人口の拡大を図っている。



02 東北風土マラソン&フェスティバル

申請団体:東北風土マラソン&フェスティバル実行委員会

北海道・東北ブロック

取組概要

- 「マラソン大会」と「食」や「日本酒」のフェスティバルを複数同時開催。大手旅行会社2社と連携し、大会前後を含めたツアーを手配。ファンランとして有名なフランス・メドックマラソンと公式企画協力。
- ランナー4,300人、来場者37,500人、経済波及効果2億円以上。大会ウェブサイトの10%強は海外からのアクセス。

評価ポイント

- 旅行会社と連携したツアー作成・手配を行っている。
- メドックマラソンとの企画協力を活かし、インバウンド促進につなげている。
- 参加者一人あたりの支出額等を調査し、経済波及効果を分析・蓄積している。



03 J2水戸ホーリーホック

ベトナムからの観戦・応援ツアー、ベトナムメディアによる日本の観光地・文化の発信

申請団体:茨城交通株式会社

関東ブロック

取組概要

- J2水戸ホーリーホックが「ベトナムのメッシ」ことグエン・コンフォン選手を獲得したことから、ベトナム航空のチャーター便により、コンフォン選手の応援ツアーを企画。「ホームゲーム観戦」および日光東照宮、鬼怒川温泉、水戸偕楽園、東京浅草観光など。
- チャーター便では、ベトナムの主要メディアや旅行会社を対象とした県主催のモニターツアーも実施され、県内観光地の視察や茨城県の観光関係業者との商談会を開催。

評価ポイント

- 茨城とベトナムの定期便呼び込みの一步となっている。
- ベトナムからの農業技能実習生を多く受け入れていることから、観光のみならず農産業等への経済効果も見込まれる。
- プロスポーツチームによる地方創生のモデルとしての展開が期待される。





スポーツ文化ツーリズムアワード2016【10選】

1次選定(入選)結果発表

04 官民連携で台湾ランナーと新潟文化をつなぐ ～スポーツを通じた交流のかけはし～

申請団体:新潟市文化・スポーツコミッション

北陸・信越ブロック

取組概要

- 「旅の中でマラソンと新潟の文化を体験できること」を目的とした企画商品の造成。台湾からチャーター便を利用し、滞在型マラソンツアーの催行等。チャーターツアー参加者105名。
- スポーツコミッション内に「観光連携」担当を配置し、大会主催者・参加者と観光関連事業者を結び付けるプラットフォームとして、情報発信や手配等を行っている。

評価ポイント

- 市内最大のスポーツイベント「新潟シティマラソン」をはじめとする各種大会イベント参加者に対し、スポーツコミッションが主体となり国内外スポーツツーリストの誘客や地域文化の発信に力を入れている。



05 熊野古道伊勢路を歩く ～伊勢から熊野へ 二大聖地を結ぶ巡礼の道～

申請団体:三重県

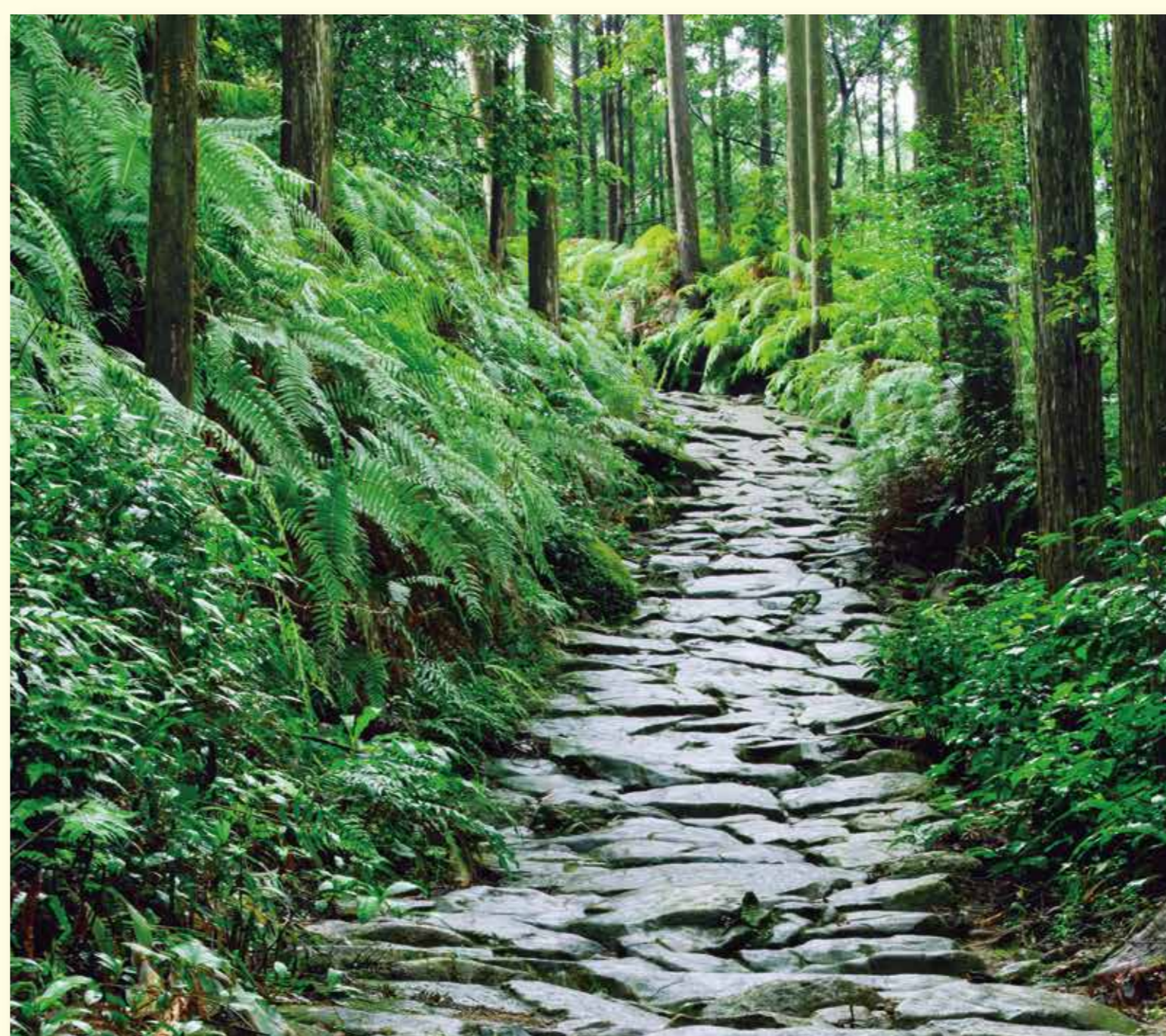
中部ブロック

取組概要

- 「熊野古道伊勢路」は様々な景観を眺めながら一年を通してウォーキングが可能。世界遺産登録5周年、10周年時には、170kmの踏破ウォーク等のイベントも実施。平成26年は来訪者が過去最高の43万人に。
- 熊野古道関係者による協働会議において熊野古道の保全と活用に係る活動指針を作成、関係者と連携して、保全・活用及び外国人受入体制整備や周辺環境整備を行っている。

評価ポイント

- 1年を通して世界遺産でのウォーキングを兼ねた観光が可能。
- 歩くためのきっかけづくりとして熊野古道を活用し、誘客につなげている。



06 世界遺産姫路城マラソン

申請団体:兵庫県姫路市

近畿ブロック

取組概要

- 姫路城大天守保存修理事業の完成を記念して始まった。世界遺産姫路城を発着地とし、書写山や塩田温泉郷などの名所、旧跡を巡るコースとなっている。
- ランナー約1万人、来場者数53,000人、沿道応援者数72,000人、経済効果は約11億2千万円。

評価ポイント

- 世界遺産姫路城を核に、地元飲食団体、商店街連合会、自治会など地域が一体となって大会を支援している。
- フルマラソンの他、ファンランの種目を多く設定し、生涯スポーツの振興を図っている。





スポーツ文化ツーリズムアワード2016【10選】

1次選定(入選)結果発表

07 サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」を核としたサイクルツーリズム

申請団体:瀬戸内しまなみ海道振興協議会

中国・四国ブロック

取組概要

- しまなみ海道沿線に点在する文化資源(芸予諸島、尾道水道、四国遍路等)を自転車で巡るサイクルツーリズムの推進。国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」の開催、海外メディア媒体等を活用した国内外へのプロモーション、自転車道通行料金の無料化、広域レンタサイクル制度など。
- しまなみ海道サイクリング来訪者数325,853人。(平成27年度推計値)

評価ポイント

- サイクリングを中心に、ルート上の文化資源を活かしながら、地域活性化、広域連携・広域エリアでの滞在型観光の促進が図られている。
- 世界最大の自転車メーカーや海外メディア等との協力・連携により効果的なプロモーションを実施。



08 あわ阿波おどり2016 ~World Awa Dance Open~

申請団体:WADO実行委員会

中国・四国ブロック

取組概要

- 阿波の名前を冠するものあまり阿波踊りが盛んであるとは言えなかった阿波市で、UIターン、観光・交流人口の拡大、地域活性化を図るため、「あわ阿波おどり2016」を開催。阿波踊りワークショップや阿波踊りショー、移住交流相談などを実施。
- 同企画後は阿波踊り最大開催地である徳島市へのバスツアーを出すなど、県内他地域と連携。

評価ポイント

- 県内他地域との連携による徳島市内からの宿泊の分散や、受け入れ可能数の増加により、阿波踊り開催地域全体へのインバウンド効果が見込まれる。
- SNSを活用し、多言語による情報発信を積極的に行っている。



09 沖縄海人スピリッツ!! いとまん帆掛(ふーかき)サバニ乗船体験

申請団体:糸満市観光協会

九州・沖縄ブロック

取組概要

- 「海人のまち」と呼ばれる沖縄県糸満市の伝統漁船「サバニ」を活用した乗船体験。小規模旅行としてのコンテンツ活用、教育型旅行商品としての展開、サバニを活用した競漕を行うことでのチームビルディングプログラムの開発やMICE商材としての活用等。
- 宿泊を含む文化体験型旅行商品の造成および糸満市観光協会等での企画販売。

評価ポイント

- 地域固有の文化資源をスポーツと融合させた体験型旅行商品として積極活用しており、地域での観光誘客に向けた取組に期待ができる。





10 日本の伝統文化とスポーツの融合 「和太鼓アクティビティ」!

申請団体:太鼓センター/TAIKO-LAB 京都・青山

その他

取組概要

- 訪日外国人等を対象とした、寺社仏閣境内やスタジオ等での和太鼓の演奏体験と鑑賞を行うアクティビティプログラム。2015年度は関西地区で約2,600人、東京地区で約3,500人の参加実績。
- 旅行代理店各社のツアープログラムに組み入れられ、代理店担当者向けに体験&説明会を定期的で開催。
- 英語でのサイト運営や予約メール受付を行い、海外からも予約可能。

評価ポイント

- 欧米からの訪日客の関心にあわせたツアープログラムの展開や、海外からも予約可能であるなど、インバウンド効果が見込まれる。

